

ARCHICAD

鉄筋機能強化、及びリスト図作成機能

操作説明書

1 はじめに

本アドオンは、STB ファイルから ARCHICAD 及び ARCHICAD Solo 及び ARCHICAD BTC 上に変換したモデルから断面リストを作成するプログラムです。

1.1 動作環境

ARCHICAD 鉄筋機能強化、及びリスト図作成機能は、以下の環境での動作を保証する。

ARCHICAD バージョン : 28

29

OS : Windows11 (64bit)

その他、ARCHICAD の動作環境に準ずる

2 インストール

ここでは、ARCHICAD 鉄筋機能強化、及びリスト図作成機能のインストール方法について説明します。

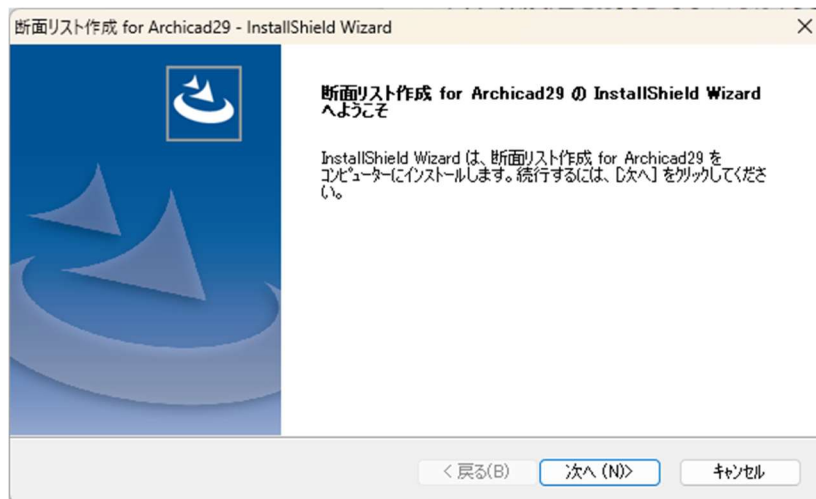
2.1 起動アプリケーションの終了

現在起動中のアプリケーションを全て終了させてください。

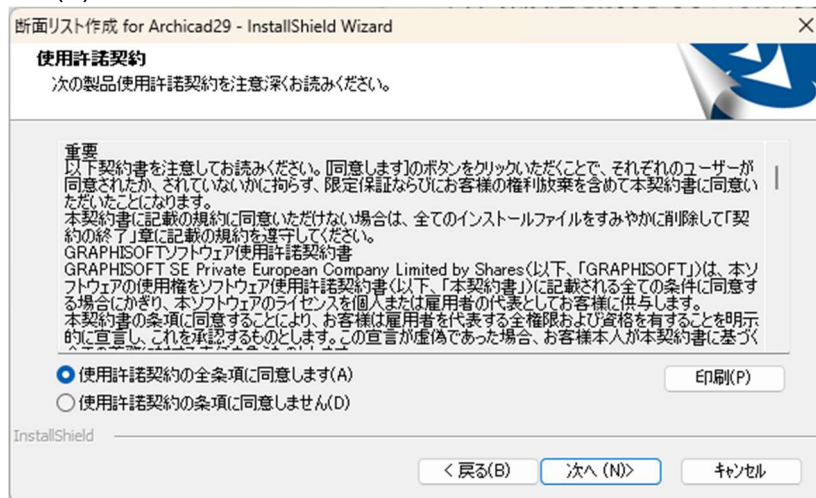
- * 必ず**管理者権限**の有るユーザーでログインしてからインストールを行ってください。
また、インストール終了後、管理者権限の有るユーザーでログインをし、一度起動することによりインストールが完全に終了します。
2回目以降のプログラム起動は、管理者権限の有るユーザーである必要はありません。

2.2 ARCHICAD 鉄筋機能強化、及びリスト図作成機能のインストール開始

- (1) 『ARCHICAD 鉄筋機能強化、及びリスト図作成機能』のインストーラ
(SECLISTARCHICAD27.exe 又は SECLISTARCHICAD28.exe)を起動してください。
- (2) インストーラを起動すると、以下の画面が表示されます。
[次へ(N)]をクリックします。

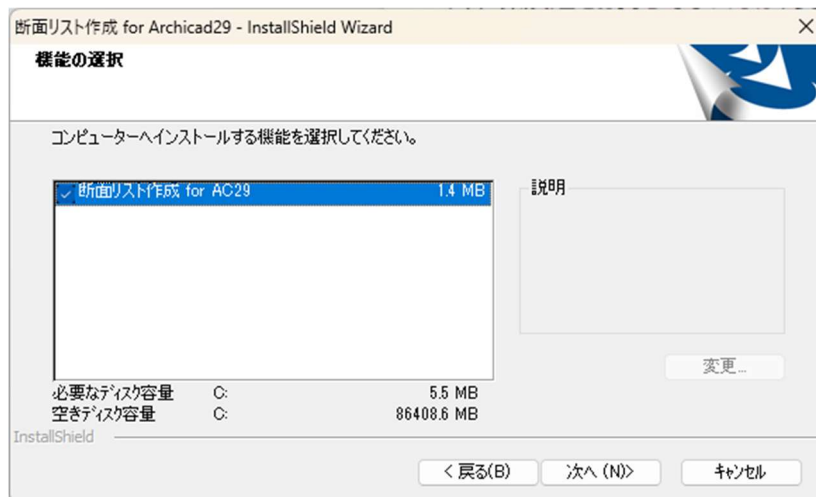


- (3) ライセンス条項に同意する場合, [使用許諾契約の全条項に同意します(A)]にチェックを入れ, [次へ(N)]をクリックします。

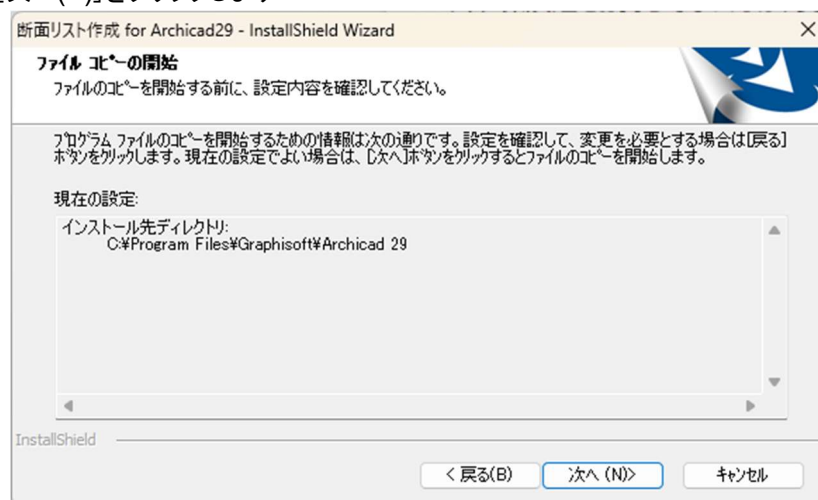


- (4) インストールする機能にチェックを入れ, [次へ(N)]をクリックします

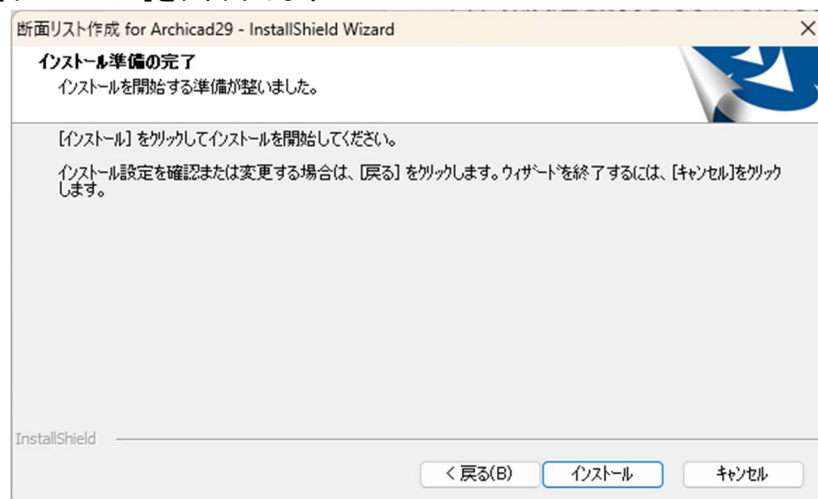
*対象の ARCHICAD がインストールされていない場合、その ARCHICAD を対象とした機能は表示されません



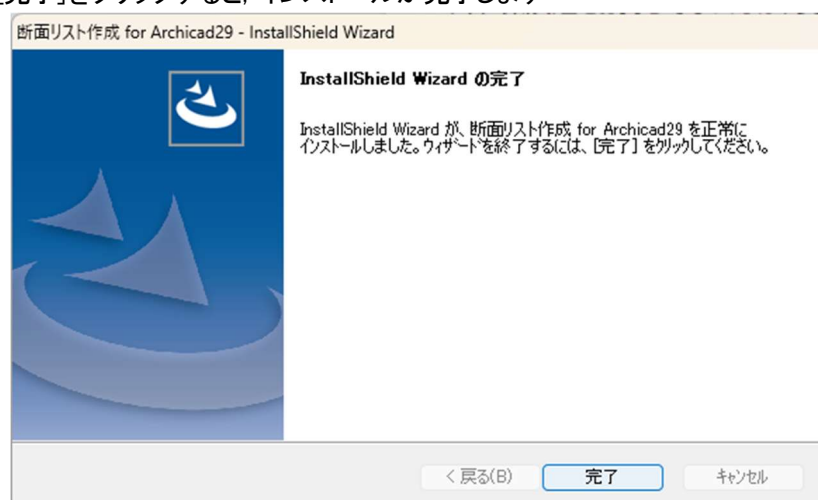
(5) [次へ(N)]をクリックします



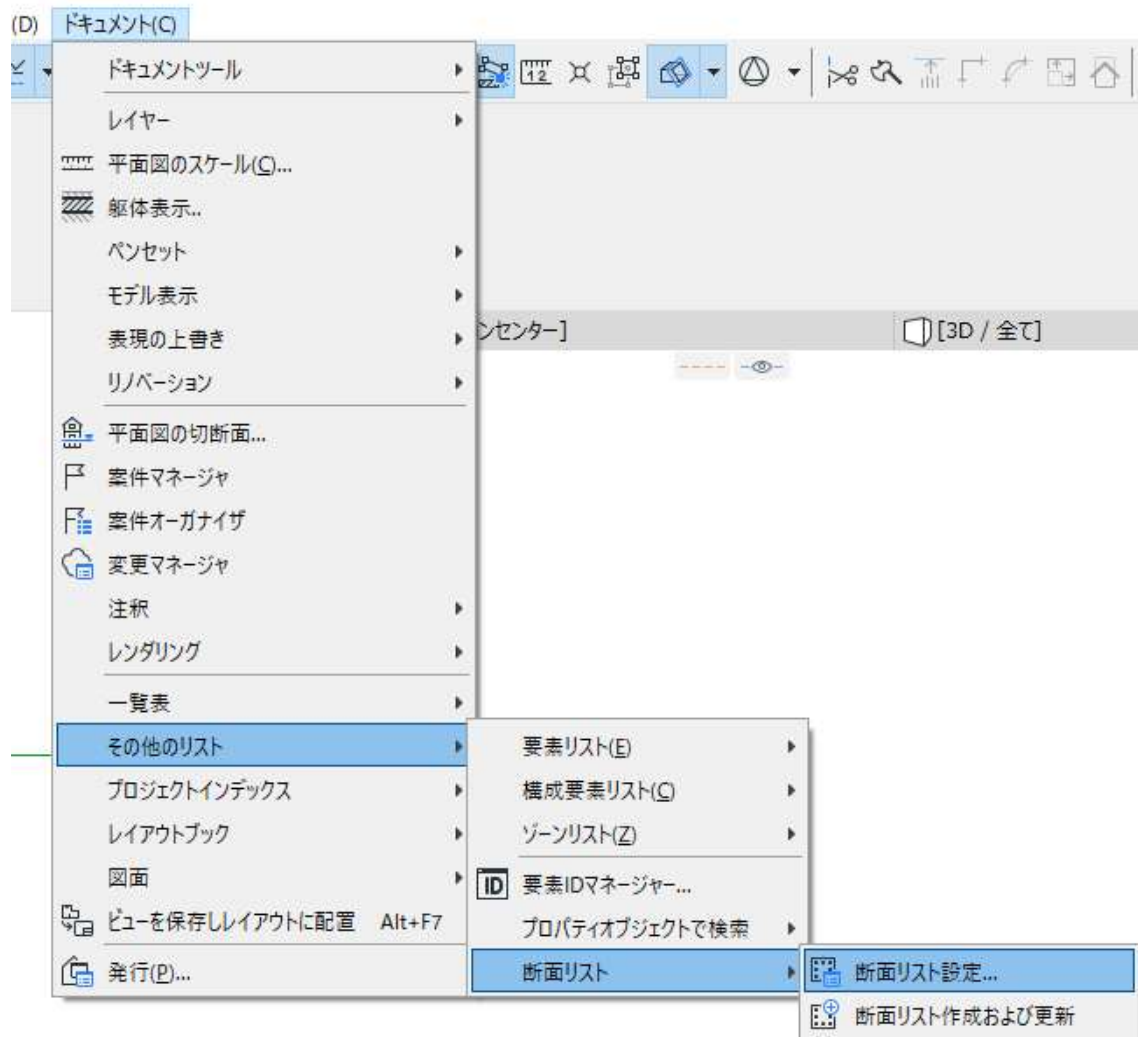
(6) [インストール]をクリックします



(7) [完了]をクリックすると、インストールが完了します



3 断面リスト設定



断面リストに関する設定を行います。

※指定がない場合は「D」とする

【リスト図設定】

・縦並び(鉄骨断面リスト)

チェックを入れると、鉄骨断面リストが縦並びに作図されます。

[チェックを入れた場合]

階	符号	断面	
PR階			
R階	C10	H-250x250x 9.0x14.0	
3階	C1	□-400x400x16.0	
	P3	H-150x150x 7.0x10.0	
2階	C1	□-400x400x16.0	
	P3	H-150x150x 7.0x10.0	
1階	C1	□-400x400x22.0	
	P3	H-150x150x 7.0x10.0	

[チェックを外した場合]

符号	C1		C10		P3	
PR階						
R階			H-250x250x 9.0x14.0			
3階	□-400x400x16.0				H-150x150x 7.0x10.0	
2階	□-400x400x16.0				H-150x150x 7.0x10.0	
1階	□-400x400x22.0				H-150x150x 7.0x10.0	

・主筋を段ごとに出力

チェックを入れると、主筋が段ごとに出力されます。

[チェックを入れた場合]

B×D		350×650
上端筋	1段筋	4-D22
	2段筋	4-D22
	3段筋	3-D22
下端筋	3段筋	3-D22
	2段筋	3-D22
	1段筋	4-D22
あばら筋		D10-2@150
腹筋		2-D10
備考		

[チェックを外した場合]

B×D		350×650
上端筋		4/4/3-D22
下端筋		4/3/3-D22
あばら筋		D10-2@150
腹筋		2-D10
備考		

・帯筋を数値で出力
チェックを入れると、帯筋が数値で出力されます。

[チェックを入れた場合]

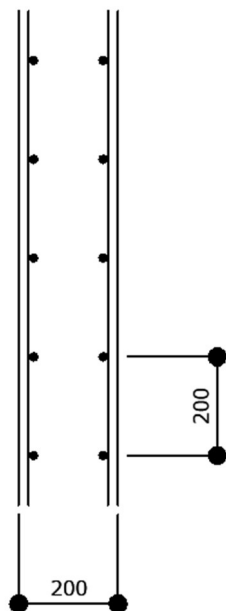
B×D	500×500
主筋	8-D19+D10
帯筋	2-D10@100
備考	
位置	全断面
接合部帯筋	

[チェックを外した場合]

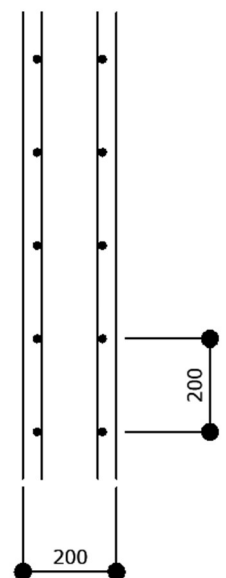
B×D	500×500
主筋	8-D19+D10
帯筋	<input type="checkbox"/> -D10@100
備考	
位置	全断面
接合部帯筋	

・縦筋を外側に
チェックを入れると、壁の縦筋が外側に描画されます。

[チェックを入れた場合]



[チェックを外した場合]



・部材が無い場合斜線を引く
チェックを入れると、部材が無い場合に斜線を引きます。

[チェックを入れた場合]

位置	
接合部帯筋	
3階	
B×D	
主筋	
芯鉄筋	
帯筋	
備考	

[チェックを外した場合]

位置	
接合部帯筋	
3階	
B×D	
主筋	
芯鉄筋	
帯筋	
備考	

【作成項目】

- ・各部材の表示/非表示及び並び順を指定します。

柱	
表示	位置
表示	接合部帯筋（上）
表示	階
表示	BxD
表示	主筋
非表示	芯鉄筋
表示	帯筋
表示	接合部帯筋（下）
表示	備考

ダブルクリックで表示/非表示を切り替えます

項目をマウスでドラッグすると順番が入れ替わります

【鉄筋マーク】

- ・径毎の鉄筋マークを指定します。

【図面設定】

- ・文字フォント、ペンの種類など、図面に関する設定を行います。

【鉄筋設定】

- ・鉄筋種別に対する記号の設定を行います。

種別	記号
SD295	D
SD345	HD

上記のように入力されていた場合、種別が「SD295」の鉄筋は「D25」、種別が「SD345」の鉄筋は「HD25」と作図されます。

【共通設定】

- ・部材のかぶり厚が0の場合に使用する値を指定します。

【エクスポート / インポート】

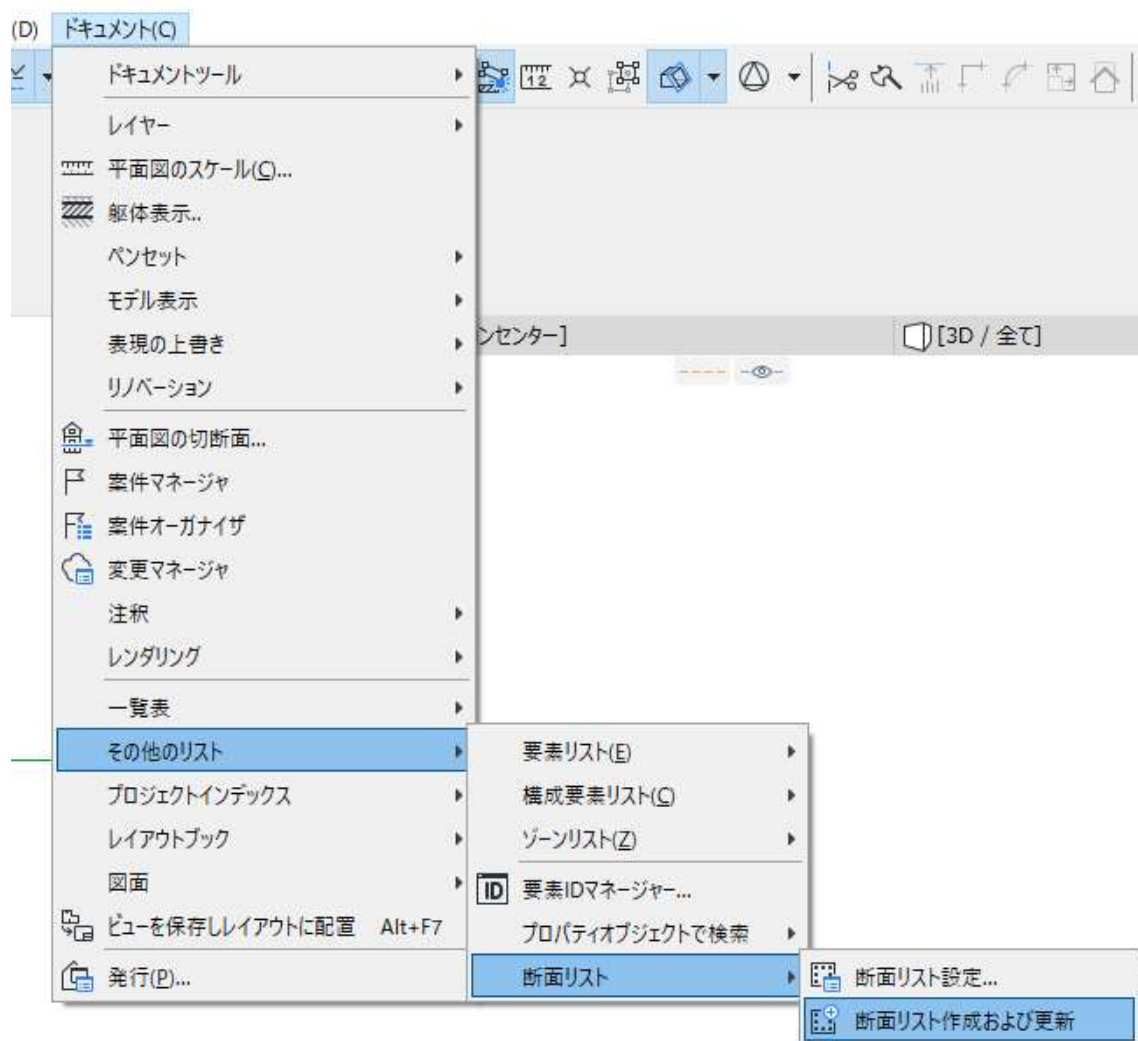
- ・設定内容を外部ファイルにエクスポート / インポートします。

【キャンセル / OK / 更新】

- ・キャンセル: 設定を保存せずに画面を閉じます。
- ・OK: 設定を保存して画面を閉じます。
- ・更新: 設定を保存して断面リストを更新します。

4 断面リスト作成及び更新

断面リストの作成及び更新を行います。



5 制限事項

- Archicad 29 では、Archicad 29 の ST-Bridge Converter でインポートしたプロジェクトまたは Archicad 29 でユーザーが設定画面から入力した情報のみ断面リストに反映されます。

- Archicad 29 では、ST-Bridge Converter がインストールされている場合のみ IFC プロパティを保存可能です。